

羽尾館跡(比企郡滑川町)

ここが羽尾館跡とされる羽尾神社





祭神の藤原恒儀は青鳥城(東松山市にその城跡が残る)の城主とのこと



一、御祭神

羽尾神社由緒

一、由緒

● 倭建命 やまと たける みこと

● 藤原恒儀 ふじ わら つねのり

当神社は、往古より「恒儀様」と尊称され、町崇敬の産土神社である。

また、伝来の古書に「倭建命、天長六(西暦八二九)年鎮座」と明記されている。

また、別の祭神「藤原恒儀」は、青鳥判官と称し、隣地東松山市の青鳥にある

青鳥城蹟の城主で、天長六年九月二十日に卒した人と伝えられる。

後年に至り、当社に合祀されたという。

そして、当社は、藤原恒儀の嫡子恒捉つねとらと家臣藤原行連によつて創建されたと

伝承されている。

明治四年村社となり、大正五年四月指定村社に昇格した。

一、祭事

- 新年祭 一月一日
- 例大祭 十月吉日
- 勸学祭 三月下旬吉日
- 春祭り 四月吉日
- 秋祭り 十二月吉日



羽尾神社の石碑/右は改築記念碑





参道から社殿を見る





拝殿



左側面から見る/左手が本殿の覆屋/右手は拝殿



振り返って鳥居方向を見る



さて、これは参道の左サイド/地盤が高くなっている



これは参道の右サイド/なだらかに右に下っている(右手の域外には水堀がある)





アップで見る



社殿の左側も地盤が高くなっている





社殿裏手の様子/前方で窪んで堀のようになっている/左手から右手になだらかに下がっている



土墨や堀跡らしき痕跡がある





堀跡が延びている





前方で域外の水堀に繋がっている



堀跡から本殿覆屋を見る



社殿左手をしてみる



やはり裏手から堀跡が廻り込んでいるような感じである



さて、域外の水堀(神社の右手)を見てみよう





前方に水堀が廻っている





この正面に先程の社殿裏手にあった堀跡がなだらかに下りてきている



域外の裏手に廻ってみる



神社を後方から見た様子



ここから神社後方の木々の中を覗いてみる



前方の方向に社殿がある



参考ホームページ

<http://iyokakuzukan.la.coocan.jp/002saitama/321haneo/haneo.html>

<http://homepage3.nifty.com/azusa/saitama/namekawamati.htm>

<http://www.geocities.jp/tsukavan0112/ioukan-saitama/haneo-horinouti-namegawamati-2007/haneo-horinouti-namegawamati-2007.html>

<http://ckk12850.exblog.jp/8241339/>

<http://atenzasports23z.blog.so-net.ne.jp/2012-09-03>

http://outdoor.geocities.jp/kojyo_annai/3_kanto/9_saitama/haneohorinouchi.html



インターネットより



インターネットより